



次回(令和9(2027)年)の 「国際海洋リモートセンシング会議(PORSEC)」が呉市で開催されます

4月22日～25日に台湾の基隆市で開催された国際海洋リモートセンシング会議(PORSEC)において、次回の国際会議を呉市で開催することが役員会で決定され、総会(4月25日(金))において公表されました。

PORSECは、海洋リモートセンシング技術に関連する専門家が世界から集まり、最新の研究動向の共有や国際的な協力を促進することを目的とした国際会議で、今回は令和9(2027)年に呉市で開催されます。

呉市では、呉市・広島大学 Town & Gown 構想の取組や広島大学の「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点(COI-NEXT)プロジェクト」の一環として、今回のPORSECを誘致するため、基隆市で開催された国際会議に職員を派遣して呉市のPRや誘致活動を行いました。

【国際海洋リモートセンシング会議(PORSEC)】

(PORSEC: Pan Ocean Remote Sensing Conference)

1 概要

海洋リモートセンシング技術を活用した海洋・大気研究の最新動向を共有し、国際的な協力を促進することを目的とした国際会議。平成2(1990)年に設立され、2年ごとに開催。

主 催：国際海洋リモートセンシング会議(PORSEC)

参加者：世界中の海洋地理空間の専門家・学生(約200人規模)

2 会議の内容

最新の研究成果や技術動向を共有し、国際的なネットワークと協力の場を提供するため、基調講演、招待講演、口頭発表、ポスターセッションのほか、若手研究者や学生向けの能力開発チュートリアルなどを実施。

【参考：呉市・広島大学 Town & Gown 構想】

<https://www.city.kure.lg.jp/site/town-and-gown/>

【参考：海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点(COI-NEXT)プロジェクト】

<https://ors-center.hiroshima-u.ac.jp/>